

# NETWORK NEWS

ネットワークニュース「願いから動きへ」は真宗大谷派のハンセン病問題への取り組みをご紹介します。広報誌です。

2014,12,26

40



## ハンセン病懇談会委員紹介

「真宗大谷派ハンセン病問題に関する懇談会」(通称：ハンセン懇)委員紹介

2014年度に入り「ハンセン懇」委員メンバーも交代し、新たな歩みを始めました。皆さま、どうぞよろしくお願ひいたします。あたらしくメンバーになった方には\*印を付けています。

### 〔連絡会〕

- 第1連絡会 (ハンセン懇委員) 水澤孝秀、酒井智\*、本間義敦\*、磯崎信光\*
- (担当) 阪本、二宮
- 第2連絡会 (ハンセン懇委員) 見義智証、朝比奈高昭、且保立子、酒井義一、高橋深恵、堀前裕見、青井和成、松下春樹、松寺広深
- (担当) 吉田佑樹、二宮
- 第3連絡会 (ハンセン懇委員) 佐々木賢成、旭野康裕、稲葉亮道、大島文昭\*、土屋慶史、下間寿昭、鈴木勤吾
- (担当) 吉田佑樹、近藤
- 第4連絡会 (ハンセン懇委員) 勝間靖、新康紀\*、飯貝宗淳\*、佐々本尚\*、新田専信、谷大輔、稲垣洋信\*、小松裕子、中杉隆法、岡学
- (担当) 山内、蓑輪

- 第5連絡会 (ハンセン懇委員) 清原昌也、来山哲治\*、田中一成\*、福田了樹\*、福田恵信、寺本是真\*
- (担当) 阪本、大屋
- 第6連絡会 (ハンセン懇委員) 長谷暢、知花昌一\*、具志堅優己、菱木政晴
- (担当) 雨森、近藤

### 〔作業部会〕

- 交流集会部会 (ハンセン懇委員) 中杉隆法、旭野康裕、吹原竜二、鈴木勤吾、藤井満紀
- (担当) 山内、吉田佑樹、大屋、蓑輪、二宮
- 真相究明、家族・ふるさと部会 (ハンセン懇委員) 長谷暢、佐々本尚、下間寿昭、訓覇浩、菱木政晴
- (担当) 雨森、吉田佑樹、大屋、蓑輪、吉田和豊、近藤
- 広報部会 (ハンセン懇委員) 谷大輔、本間義敦、且保立子、高橋深恵、飯貝宗淳
- (担当) 山内、大屋、蓑輪、二宮、近藤

ハンセン病問題に関するお問い合わせなど、ごなたでもお気軽にお電話ください。

また、各療養所・退所者の会の窓口担当も、紹介しております。

連絡先：☎075-371-9247  
(真宗大谷派解放運動推進本部内)

## 重監房資料館訪問に寄せて

2014年4月30日に栗生楽泉園(群馬県草津町)内に重監房資料館がオープンしました。そのことは地元メディアが大きく取り上げました。その時、私の脳裏には忘れられない方々の顔が浮かびました。12年ほど前のある日、突然に(姉)二さんが支援者と共に自坊に訪ねて来られました。訪問の目的は重監房(特別病室)復元に向けて署名をとりまとめたいとの依頼でした。当時、ハンセン懇内でも重監房の復元について盛んな議論がされていました。私は現状のまま保存したほうがいいと考えていましたが、(姉)さんの復元へのあつちい思いにふれ、署名の取りまとめを約束し、後日署名を託しました。



重監房資料館

その(姉)さんは重監房資料館のオープン直後の5月11日に旅立たれました。あたくも草津町では二回目になるハンセン病市民学会の開催中であり、(姉)さんは自らが提唱し命をかけて取り組んできた重監房資料館の完成を見届けるかのようにその生涯を閉じました。私が資料館を訪れたのは6月でしたが、平日にもかかわらず多く

## あとがき

今年も松丘保養園(青森県青森市)で白道会の報恩講が勤められた。10月4日の青森は暖かな日だった。園内の納骨堂の前でお勤めをして、施設の多目的ホールで報恩講を勤めて交流会を行った。今年は園から11人の参加者があった。私が初めて参加してから数年経つが、園内からの参加者が年々減ってきている。交流会の時間自体も年々短くなっている。保養園内の高齢化が大きな課題ではあるが、課題はそれだけではない。参加したくても介護を必要とする入所者は、職員負担を考慮してしまおう。同じ病室の担当者が自分だけにつくと、他の同室の人に目が届かなくなってしまうのではないかと思うからだ。

交流会の後に一人の入所者の方にお茶に誘われた。「亡くなった人の荷物を整理していて、私の家は入れないから」と、もう一人の入所者のお家にお邪魔してのお茶になった。「みんな歳とってきたからね」と言われた。松丘保養園の報恩講を通し、あらためて私たち自身と社会の課題を覚えてもらった気がする。

(「ハンセン懇」広報部会 本間義敦)

真宗大谷派ハンセン病問題に関する懇談会 ネットワークニュース



真宗大谷派ハンセン病問題に関する懇談会 ネットワークニュース「願いから動きへ」40号

発行日 ●2014年12月26日  
発行人 ●木越 渉  
発行 ●真宗大谷派解放運動推進本部  
〒600-8505  
京都市下京区烏丸通七条上る  
真宗大谷派事務所  
TEL: 075・371・9247  
FAX: 075・371・9224  
E-mail: kaiho@higashihonganji.or.jp



重監房跡地 (1999年、宗議会議員の現地研修より)

の来館者があり驚きました。資料館は納骨堂に隣接しており想像以上に立派な建物です。入り口で簡単なアンケートを記入した後、学芸員の案内で重監房についてのオリエンテーションの為に20分ほどの映像を観るようになっていきます。その後、復元された重監房の前で映像によるレクチャーがあり、いよいよ重監房へと進んでいきます。実際の重監房を知る方の証言を元に復元しただけにリアリティがあります。そこを出た後はパネル展示や重監房跡地の発掘調査から出土した遺物の展示などを見学するようになっていきます。1時間半ほどで館を出て感じたことは、ぜひ重監房の跡地も併せて観て欲しいということでした。

かつて、重監房の跡地に立って拡声器を肩にかけ、そこで何が行われたのかを語ってくれた田中梅吉さんの姿が思い起こされます。梅吉さんは病の身をおして園内を案内してくれました。この重監房資料館は(姉)さんをはじめ、この地で亡くなっていかれた方々にとっての忘れ形見ではないでしょうか。国による強制隔離政策のすさまじさの象徴である重監房の存在を、しっかりと胸に刻み、語り継ぐことがあらためて求められているのだと思います。

「ハンセン懇」第2連絡会委員 朝比奈高昭





# 菊池事件 再審模擬裁判を受けて

1月 1日に菊池恵楓園〜熊本合志市〜

1条へ法の下の平等違反

3次再審請求が認め

う心差別心... ややもすると差別心によつて振り回されていく私 私たちは平等ということも簡単に口にします。今

人の 真宗 5

に ている人 でありたい 本 に生きたい という人 のいのりを、 んと きながら



ているあ... 続ける自分も... が願わう身



解放運動推進本部ではDVDの貸出しを行っています。各地で上映をすすめてください。(075)371-9247



映新あついは、ハンセン病者であることをののをみにられた50年上の事件をして、れをしたの会のが今どのようにわったのか、してがわからないのがかれています。

## 菊池事件の概要

1951年、現在の熊本県菊池市で起こったダイナマイト事件と殺人事件。かつて村役場の衛生係として勤務していた被害者宅でダイナマイトが爆発したことにより被害者がF氏を「らい」患者として県に報告した。それにより菊池恵楓園への入所勧告を受けたF氏の逆恨みによる犯行だとされた。その後、被害者が何者かに殺害され、当然、容疑はF氏に向けられた。ハンセン病であるが故の差別・偏見が、公正な裁判をさまたげ、F氏は裁判所構内の通常の法廷に一度も立つことなく、死刑判決が言い渡され、1962年9月、死刑が執行された。

「ハンセン懇」第5連絡会委員 福田了樹